



2025年1月22日
音威子府村
株式会社 NTT ドコモ

北海道音威子府村とドコモが「持続可能な森づくりに関する基本合意書」を締結 ～ドコモの森による Jクレジットの創出、スマート林業の推進による地域貢献活動を実施～

北海道音威子府村（以下、音威子府村）と株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、ゼロカーボンの実現を目的とした「持続可能な森づくりに関する基本合意書」（以下、本合意書）を2025年1月22日（水曜）に締結いたしました。

本合意書に基づき、ドコモの森による Jクレジットの創出やスマート林業の推進による地域貢献活動を行ってまいります。音威子府村とドコモは、「音威子府村ゼロカーボンシティ宣言^{*1}」「ドコモグループ 2040 年ネットゼロ^{*2}」の実現に向けて、官民共創を行い、森林保全活動を通じて「林業」の面から新たな価値を創造してまいります。

音威子府村は、現在、676.22ヘクタール（6,762,200㎡）の森林を村有林として管理しています。ドコモは毎年、ドコモグループ社員やその家族とドコモの森などを活用した森林保全活動のほか、自治体および林業事業者などと連携した環境教育などの生物多様性の保全・回復活動を実施しております^{*3}。

本合意書に基づき、2025年4月1日（火曜）から2033年3月31日（木曜）までの約8年間において、音威子府村の村有林を「ドコモ音威子府『匠』の森」として活用し Jクレジット創出に取り組みます。またドコモが開発しているスマート林業機械による省人化・省力化の検証を実施し、脱炭素社会の実現や、担い手の減少および高齢化が課題となっている林業の再生を通じて、健全な森林を未来へ継承するための取り組みを進めてまいります。



1. 本合意書の名称

「持続可能な森づくりに関する基本合意書」

2. 本合意書の締結日

2025年1月22日（水曜）

3. 連携・協力事項

- (1) 音威子府村が保有する村有林を活用したJクレジットの創出
- (2) ドコモが開発を進めているスマート林業機械の検証実施
- (3) 音威子府村内の児童に対する環境教育（環境保全活動）の実施

各連携・協力事項については、(1)から(3)の個別案件ごとに覚書を締結して、進めていく予定です。

(1)に関しては、本合意書とあわせて「Jクレジット創出に関する覚書」（以下、本覚書）を同日に締結いたしました。

(1)に関する覚書では、音威子府村が保有する村有林の一部である「ドコモ音威子府『匠』の森」をJクレジットのプロジェクト登録を行うべく、作業を進めてまいります。ドコモが音威子府村のプロジェクト登録を支援することにより、国が掲げる2050年のゼロカーボン実現に向けた官民連携のスキーム作りを検証してまいります。

(2)と(3)に関しては、本合意書の締結後、林業および教育関係者と場所や日程などを調整しながら、覚書締結を進めてまいります。

■本覚書の概要

1. 本覚書の名称

「Jクレジット創出に関する覚書」

2. ネーミングライツ

ドコモ音威子府「匠」の森



音威子府村有林

3. 所在地

- ・音威子府村字物満内
- ・音威子府村字音威子府、音威子府村字上音威子府
- ・音威子府村字音威子府、音威子府村字咲来
- ・音威子府村字咲来

4. 面積

676.22ヘクタール（6,762,200㎡）

※うち人工林 452.43ヘクタール（4,524,300㎡）

5. 実施期間

2025年4月1日（火曜）～2033年3月31日（木曜）

音威子府村とドコモは、本合意書を通じて、「音威子府村ゼロカーボンシティ宣言」「ドコモグループ 2040 年 ネットゼロ」に向けて、取り組みを推進してまいります。

※1 「音威子府村ゼロカーボンシティ宣言」の詳細については、こちらを参照ください。

<https://www.vill.otoineppu.hokkaido.jp/kakuka/juuminseikatsu/2023-0307.html>

※2 「ドコモグループ 2040 年 ネットゼロ」の詳細については、こちらを参照ください。

https://www.docomo.ne.jp/corporate/csr/ecology/environ_management/netzero/

※3 ドコモの自然環境保護活動や社会貢献活動など、本件以外の地域に根ざした取り組みについては、こちらを参照ください。

<https://www.docomo.ne.jp/corporate/csr/activity/>

※本リリースは、NTT グループが展開する GX ソリューションブランド「NTT G×Inno（エヌティティ ジーノ）」の取り組みの 1 つです。「NTT G×Inno」は、「NTT GX（Green Transformation）× Innovation」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation（変革）をおこし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです。

<https://group.ntt.jp/group/nttgxinno/>



* 「NTT G×Inno」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

本件における報道機関からのお問い合わせ先	
北海道音威子府村 経済課産業振興室 sangyoushinkou@vill.otoineppu.hokkaido.jp	株式会社 NTT ドコモ 経営企画部 事業構想担当 docomo-forest-pj@ml.nttdocomo.com

参考

ドコモのJクレジット創出に関する取り組み

ドコモでは、各地域と連携してJクレジットの創出に努めています。

	連携先	取り組み概要
1	北海道富良野市 (2024年7月25日締結)	<ul style="list-style-type: none">・富良野市が保有する市有林を活用したJクレジットの創出・ドコモが開発を進めているスマート林業機械の検証実施・富良野市内の児童に対する環境教育（環境保全活動）の実施
2	北海道音威子府村 (2025年1月22日締結)	<ul style="list-style-type: none">・音威子府村が保有する村有林を活用したJクレジットの創出・ドコモが開発を進めているスマート林業機械の検証実施・音威子府村内の児童に対する環境教育（環境保全活動）の実施

※北海道富良野市との取り組みに関する報道発表：[北海道富良野市とドコモが「持続可能な森づくりに関する基本合意書」を締結](#)